

加茂市



議会だより

第172号

平成23年7月31日

編集発行 加茂市議会

〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

T E L 0256-52-0080(代表)

F A X 0256-53-4684(直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

E-mail

gikaijimu@city.kamo.niigata.jp



↑
主な内容

- 一般会計補正予算を可決 (2)
- 常任委員会の審査から (3)
- 10人が一般質問に登壇 (4)
- 30人以下学級の実現を採択 ... (7)
- 議決状況一覧表 (8)

園児と交流する
コムソモリスク・ナ・
アムーレ市子供代表団
(芝野保育園)

定例会日程

- 6月21日 本会議・全員協議会
 22日 本会議
 23日 本会議・連合審査会
 24日 産業建設常任委員会
 28日 社会厚生常任委員会
 29日 総務文教常任委員会
 7月1日 本会議・全員協議会

この定例会では、各会計補正予算、人事など市長提出議案十件を慎重に審議の結果、すべて承認、原案可決、同意しました。

また、議員提出の意見書一件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

一般会計は四号補正で一千二十四万円、五号補正で一億一千五百九十万三千円、六号補正で一千八万六千円とするものです。

歳出の主な内容は、東日本大震災復興緊急保証制度についての加茂市の支援事業費一億八千四十八万円、安心こども基金事業費三千九百二十一万八千円、十三歳未満の子どものインフルエンザワクチン接種の一回目を無料とするための予防接種事業費九百十八万一千円、放射線量測定器購入費六十万九千円、中学校楽器整備費百十六万三千円、紙漉き技術保存振興事業費三千八百五十二万四千円などを増額するものです。

一般会計補正予算を可決

**東日本大震災復興緊急保証制度についての
加茂市の支援事業費一億八千四十八万円など**

六月定例市議会は、二十一日から七月一日まで、会期十一日間で開かれました。

この定例会では、各会計補正予算、人事など市長提出議案十件を慎重に審議の結果、すべて承認、原案可決、同意しました。

また、議員提出の意見書一件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

一般会計は四号補正で一千二十四万円、七号補正で三千七百八十四万六千円を増額し予算の総額を百三十七億九千十

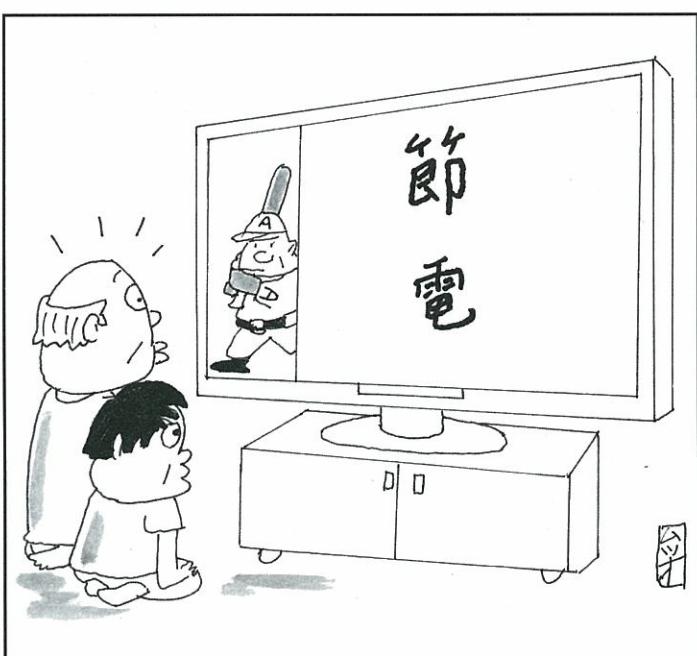
号線を市道に認定するものです。

市道路線 道路法により若干中学校下道線二

6月定例会

人 事 定例会初日の本会議で、六月二十六日に任期満了となる副市長に、吉田淳二氏（新栄町、74歳）の選任を同意しました。

次いで、議会選出の監査委員に、森山一理氏の選任を同意しました。



節電時間

羽生 六男

7月臨時会

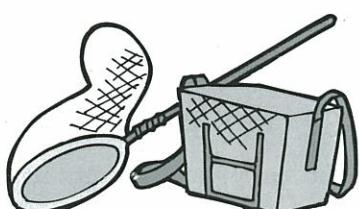
七月二十五日に臨時

市議会が開かれ、市長

提出の議案二件を承認、

原案可決しました。

そのうち、一般会計補正予算是、小中学校の校務用パソコン購入費と、地域集会施設整備費補助金を増額するものです。



農業委員を推薦

定例会最終日の本会議で、七月十九日に任期満了となる議会推薦の農業委員会委員に、中野元栄、樋口博務両議員と牛腸陽子氏（下条戊）を推薦しました。

一般会計補正予算是、建設機械等管理費一千二百七十一万円を増額するものです。

市議会が開かれ、市長提出の議案二件を承認、原案可決しました。

議員表彰



表彰状を受ける安武議員



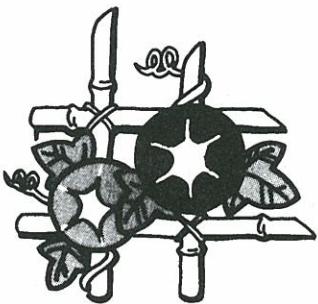
表彰状を受ける樋口議員

全国市議会議長会から永年在職議員並びに正副議長在職議員として表彰された、次の方々の表彰状伝達式が、定例会初日の開議に先立って行われました。

【特別表彰】

◎議員在職二十年以上
樋口 博務 議員

【一般表彰】
安武 秀敏 議員
茂岡明与司 議員



表彰状を受ける茂岡議員

産業建設常任委員会

六月二十四日に委員会を開催し、市道路線の認定箇所の現地視察を行った後、一般会計補正予算など付託された議案二件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見を要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。



産業建設常任委員会の現地視察（若宮町・市道認定箇所）

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案、請願は、6月24日から6月29日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案はすべて原案可決、請願は採択すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。

社会厚生常任委員会

六月二十八日に委員会を開催し、一般会計補正予算の付託された議案一件について、説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、意見・要望を付すことなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

六月二十九日に委員会を開催し、一般会計補正予算の付託され、義務教育費国庫負担制度拡充に関する意見書の採択を求める請願は、紹介議員の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。



れた議案一件について、説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すことなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

この夏の加茂市における省エネ、節電対策について
市民クラブ 関 龍雄 議員

質問 ① 加茂市の平成二十二年四月から九月までの各月の電力消費量は何キロワットか。
② 加茂市としてどのような省エネ対策を実施または計画しているか。
③ 新潟県のピークカット一五カット一五%大作戦夏季対策に対応するのか。
④ 市民に対してどのように対応するのか。



6月定例会本会議

一般質問

市政の内容を聞く

六月定例会では初日から十人の議員が一般質問を行い市政全般について所見や執行状況を問い合わせました。その要点

質問 ① 加茂市の平成二十二年四月から九月までの各月の電力消費量は何キロワットか。

四キロワット、九月が七万一千九百八キロトロップであった。

質問 ② 市庁舎における省エネ対策であるが、六月上旬から市庁舎ホールの水銀灯の間引き、玄関ポーチ等各所の照明を消灯している。同時にエレベーター二基を実施または計画しているか。

地震それぞれの場合の避難所を定めることを、まずもって行いたい。次に、浸水想定区域図とハザードマップをつくっておきたいと思う。西地区、須田等の水害の避難場所のない地域に対する加茂市保有のバスによる救助活動については、別途行動要領を定めて、その地域の皆様に連絡したいと思う。

詳しく述べる議論で

六月定例会の会議録は、八月下旬に発行予定です。図書館、勤労青少年ホーム、かも川荘、ゆきつばき荘、各コミュニティセンターでご覧ください。

なお、行政視察報告についても、会議録と同じ場所でご覧ください。

質問 ① 加茂市では災害時ににおけるマニュアルやハザードマップがない。県が作成したマニュアルよりよいものと/or/たが、その後どうなっているのか尋ねる。
② 救急車による応急診療所への搬送について見解を聞く。

質問 ① 加茂市の地域防災計画は、平成七年十一月に一部修正されて以来、改正されていないと思うが、全国の大災害を受け、内容の見直しを含め、内部で精査した上で防災会議に諮るべきと考えるがどうか。

質問 ② 災害時要援護者の情報が外部共有されているが、対象者の人数と共有者の職種を尋ねる。

加茂市の防災体制について

開明の会 田沢弘一 議員

質問 ① 加茂市も完全に高齢者社会に入ってきた。若者に夢と希望を与える、住みやすい加茂市を目指すとしたら、行政としてどんな施策を考えているか。加茂市の未来をどんな形で描いているか聞きたい。

質問 ② 特別防災救助隊を常設のものとして編成し、洪水と

③ 加茂市も完全に高齢者社会に入った。若者に夢と希望を与える、住みやすい加茂市を目指すとしたら、行政としてどんな施策を考えているか。加茂市の未来をどんな形で描いているか聞きたい。

質問 ③ 自主防災組織は必要と考えるがどうか。

質問 ① 特別防災救助隊を常設のものとして編成し、洪水と地震それぞれの場合の避難所を定めることをまずもって行いたい。次に、浸水想定区域図とハザードマップをつくっておきたく思う。西地区、須田等の水害の避難場所のない地域に対する

③ 新潟県のピークカット一五カット一五%大作戦夏季対策に対応するかは、今ほど申し上げたとおりである。

④ 私は基本的にエネルギー政策は国策だと思っているが、広報等を通じて県のピークカット大作戦への協力を呼びかけるとともに、停電が実施されるか否かについては、その都度速やかに新聞チラシを全戸に配布しているところである。

② 救急患者は加茂病院へ搬送する。加茂病院で手に負えない患者は、他の救急病院へ搬送する。救急病院でない応急診療所へ搬送することはない。

③ 私たちが推進してきた加茂市政の基本哲学と救命救急センターを加茂病院に誘致する等の重要課題は、今後も変わることはない。したがって、加茂市の未来をどんな形で描いているかと言われば、現在の高い水準の市政をさらに推進していくことである。

質問 ① 加茂市では災害時に呼びかけているところである。

質問 ② 救急車による応急診療所への搬送することはない。

質問 ③ 私たちが推進してきた加茂市政の基本哲学と救命救急センターを加茂病院に誘致する等の重要課題は、今後も変わることはない。したがって、加茂市の未来をどんな形で描いているかと言われば、現在の高い水準の市政をさらに推進していくことである。

質問 ② 平成二十三年四月一日現在の災害時要援護者の人数は、事務的に一応一千六百十八人で、名簿は総務課、在宅介護・看護支援センター、福祉事務所、消防署で共有している。

質問 ③ 自主防災組織は、国民保護法と連結して平時から国民を軍事的に組織化しようとするものである。加茂市としてはその方向をとるべきではない。

市長の5期目の公約について

新政クラブ 安武秀敏 議員

質問 ① このたびの選挙の公約の中に第三平成園の後期工事に着手するあるが、現在の施設入居状況及び待機者数を聞く。また着手について構想を聞く。

② 平成二十四年度から中学校で武道が必修になるのに先駆けて、加茂市では昨秋の十月から実施することになった。多種目から選択できるとしているが、柳生新陰流など特別な武道がある。指導要領はあるのか。

答弁 ① 平成二十三年二月の特養、老健、介護療養型施設の施設サービス利用者数は三百七十八人となっている。入所待機者数については、平成二十一年十二月に開所した第三平成園へ四十人が入所しており、また、ショートステイも十床整備したので、今すぐ入所が必要な待機者は一応解消されていると考えているが、もとより完全なものではない。

そこで、第三平成園後期工事を行う必要があるわけであるが、私の任期中、平成二十七年五月九日までに完成して入居を終わらせるためには、今から県に申し込んでも遅いくらいだとの

③ 随時、義援金の状況を市政

質問 ① 義援金の総額はいくつであるか。残額があれば、どのように使う予定か。

東日本大震災に対する義援金について

開明の会 浅野一明 議員

② 義援金はどのように使用しているが、もとより完全なものではない。

③ 平成二十四年度から中学校で武道が必修になるのに先駆けて、加茂市では昨秋の十月から実施することになった。多種目から選択できるとしているが、柳生新陰流など特別な武道がある。指導要領はあるのか。

答弁 ① 東日本大震災について、政府の対応が遅すぎるとして方々からスピード問題を指摘され、また原発事故については原因の究明が明確に示されないなど、ずさんな管理体制が露呈し、危機管理の甘さが問題視されている。

加茂市としても関係の避難者を大勢預かっているので、この際、他山の石の観点から見解を伺う。

答弁 ② 県内にも原子力発電所があるので、被災の可能性と対策についてどのように考えているか見解を聞く。

答弁 ③ 新潟県がきちっとした行動計画をつくっているので、それに全面的に従いたいと思う。

これまでの県の行動計画は、柏崎刈羽原発から十キロ圏のみの計画であったが、県では、このたび重大な事故のときは、これを五十キロ圏まで広げた計画にすることとした。半径三十キロ圏内は全員避難とし、三十キロ圏から五十キロ圏は屋内退避とするとのことである。

答弁 ④ 今夏の加茂市の節電対策はどういうふうに実施する予定か。

答弁 ⑤ 議会選出の監査委員の事前提案は、議会の自律権行使に影

ことである。したがって、早速県に申し込み、同意が得られ次第、建設に着手したいと思う。

② 学習指導要領では、柔道、剣道、相撲のうちから一つ選択

して履修できるようにするとしながら、なお、地域や学校の実態に応じて、なぎなたなどのその他の武道についても履修させることができるとしている。

質問 ① 今後、より強化していくべき支援活動はソフト分野での支援、つまり広報的支援と人的支援だと考えている。現在も積極的に行政が支援活動をしていることは十分理解しているが、さらにその支援活動が効果的なものとなるために必要な要素として、ソフト分野の拡充が挙げられるのではないかと考えるが、見解を聞く。

② 高齢者のインフルエンザ予防接種の無料化など予防接種事業に大いに力を注いできた加茂市である。子供を対象にしたインフルエンザ予防接種の助成を実施していただきたい。

答弁 ① 広報的支援について

たか。残額があれば、どのように使う予定か。

答弁 ② 義援金の総額はいくつであるか。残額があれば、どのように使う予定か。

答弁 ③ 随時、義援金の状況を市政

④ 今夏の加茂市の節電対策はどういうふうに実施する予定か。

⑤ 議会選出の監査委員の事前提案は、議会の自律権行使に影響を及ぼしかねないので、遠慮願いたいがいかがか。

市民の活動に対する行政の支援について

大志の会 滝沢茂秋 議員

答弁 ① 今後、より強化していくべき支援活動はソフト分野での支援、つまり広報的支援と人的支援だと考えている。現在も積極的に行政が支援活動をしていることは十分理解しているが、さらにその支援活動が効果的なものとなるために必要な要素として、ソフト分野の拡充が挙げられるのではないかと考えるが、見解を聞く。

答弁 ② 高齢者のインフルエンザ予防接種の無料化など予防接種事業に大いに力を注いできた加茂市である。子供を対象にしたインフルエンザ予防接種の助成を実施していただきたい。

答弁 ③ 今夏の加茂市の節電対策はどういうふうに実施する予定か。

④ 今夏の加茂市の節電対策はどういうふうに実施する予定か。

⑤ 議会選出の監査委員の事前提案は、議会の自律権行使に影響を及ぼしかねないので、遠慮願いたいがいかがか。

答弁 ① 今夏の加茂市の節電対策はどういうふうに実施する予定か。

答弁 ② 今夏の加茂市の節電対策はどういうふうに実施する予定か。

答弁 ③ 今夏の加茂市の節電対策はどういうふうに実施する予定か。

答弁 ④ 今夏の加茂市の節電対策はどういうふうに実施する予定か。

答弁 ⑤ 議会選出の監査委員の事前提案は、議会の自律権行使に影響を及ぼしかねないので、遠慮願いたいがいかがか。

大志の会 保坂 裕一 議員

災害時の対応とその取り組みについて

質問 ① 加茂市と他の地方公共団体における、災害応援協定の締結状況についての現状と考え方を尋ねる。

民間業者との災害協定の締結状況についても現状と考え方をあわせて尋ねる。

② 震災後、現在までのボランティアの応募状況、活動内容を尋ねる。

③ ボランティアの養成やコーディネーターの育成が必要だと考えるが、どのように考えているか。

④ 新潟市、長岡市、三条市をはじめとする十二市町村による災害時における近隣市町村相互応援協定がある。これは飲料水、食糧、日用品、資機材の提供及び職員派遣を行うというものである。

また、新潟県、群馬県、栃木県、茨城県の関係市町村で構成する北関東・新潟地域連携軸推進協議会災害時における相互応援に関する協定がある。

郵便事業株式会社と災害時ににおける加茂市と加茂市内郵便局の協力に関する協定を締結し、郵便局の施設または用地を災害時の避難場所として貸与している。ただくことになっている。

② 加茂市としてはボランティアの募集は行っていないが、既存団体がボランティアとして開催するイベントに、避難者を招待したというようなことは承知を待たない。

③ 耐震診断・耐震改修補助制度

市民の生命・財産を守る防災対策について

日本共産党 龟山重光 議員

質問 ① ハザードマップが定めるべきと思うが、一五%以上削減する決意と対策を伺う。

② 特別防災救助隊を常設のものとして編成し、洪水と地震それぞれの場合の避難所を定めることをまずもって行いたい。次に、浸水想定区域図とハザードマップをつくっておきたいと思う。

③ 当然導入すべきものであると思う。

④ 原発事故により電力需要が高まる夏を迎えるにあたり組むべきと思うが、一五%以上削減する決意と対策を伺う。

今後、節電とエコ対策に取り組むべきと思うが、一五%以上削減する決意と対策を伺う。

⑤ 六月上旬から市庁舎ホールの水銀灯の間引き、玄関ボーチ等各所の照明を消灯している。同時にエレベーター二基のうち一基を停止している。そのほか市民サービスに支障のない範囲でまことにスイッチのオン、オフを心がけるよう庁内で呼びかけているところである。

答弁 ① 新潟市、長岡市、三条市をはじめとする十二市町村による災害時における近隣市町村相互応援協定がある。これは飲料水、食糧、日用品、資機材の提供及び職員派遣を行うといふものである。

また、新潟県、群馬県、栃木県、茨城県の関係市町村で構成する北関東・新潟地域連携軸推進協議会災害時における相互応援に関する協定がある。

郵便事業株式会社と災害時ににおける加茂市と加茂市内郵便局の協力に関する協定を締結し、郵便局の施設または用地を災害時の避難場所として貸与している。ただくことになっている。

② 加茂市には一般住宅に対する耐震診断・耐震改修補助制度

① 加茂市と他の地方公共団体における、災害応援協定の締結状況についての現状と考え方を尋ねる。

民間業者との災害協定の締結状況についても現状と考え方をあわせて尋ねる。

② 震災後、現在までのボランティアの応募状況、活動内容を尋ねる。

③ ボランティアの養成やコーディネーターの育成が必要だと考えるが、どのように考えているか。

④ 新潟市、長岡市、三条市をはじめとする十二市町村による災害時における近隣市町村相互応援協定がある。これは飲料水、食糧、日用品、資機材の提供及び職員派遣を行うといふものである。

また、新潟県、群馬県、栃木県、茨城県の関係市町村で構成する北関東・新潟地域連携軸推進協議会災害時における相互応援に関する協定がある。

郵便事業株式会社と災害時ににおける加茂市と加茂市内郵便局の協力に関する協定を締結し、郵便局の施設または用地を災害時の避難場所として貸与している。ただくことになっている。

② 加茂市としてはボランティアの募集は行っていないが、既存団体がボランティアとして開催するイベントに、避難者を招待したというようなことは承知を待たない。

③ 耐震診断・耐震改修補助制度

④ そもそもボランティアとは個人の意思でやるもので、養成などということは、考えていない。

⑤ その他の公共施設の耐震改修を進めているが、現在の原発政策に対する考え方を聞く。

⑥ 私たち日本共産党は、原発からの撤退の戦略的決断と安全優先の原子力管理体制の確立を強く求めているが、現在の原発政策に対する考え方を聞く。

⑦ 特別防災救助隊を常設のものとして編成し、洪水と地震それぞれの場合の避難所を定めることをまずもって行いたい。次に、浸水想定区域図とハザードマップをつくっておきたいたと思う。

⑧ いざというときの避難場所となる公共施設の耐震化について、学校施設では体育館は終了したようだが、校舎部分の耐震化工事はいつまでやるのか。

⑨ 被災者支援システムの導入、運用が必要であると思うが、考えを尋ねる。

⑩ ③ 理想の形は原発を全廃し、地球温暖化を完全に防止しながら、自然エネルギーに頼っていると思う。西地区、須田等の水害の避難場所のない地域に対する加茂市保有のバスによる救助活動については、別途行動要領を定めて、その地域の皆様に連絡したい。他の公共施設の耐震改修を進めているが、現在の原発政策に対する考え方を聞く。

⑪ ② 今後、小中学校の校舎の耐震改修を中心に行い、その後、他の公共施設の耐震改修を進めないと、財政的には住宅の耐震診断、耐震改修に対する補助事業の創設までに及ばない状況である。

⑫ ③ 理想の形は原発を全廃し、地震改修を中心に行い、その後、他の公共施設の耐震改修を進めないと、財政的には住宅の耐震診断、耐震改修に対する補助事業の創設までに及ばない状況である。

9月定例会

傍聴してみませんか

一般質問も行われます。

このほか、必要により特定の案件を審議する臨時会が開かれます。



加茂市を明るく住みよいまちにしていくため、議会の活動状況を知り、市政の内容を理解することは、大切なことです。

市議会は、誰でも傍聴できます。皆さんのが選んだ議員が皆さんに声を市政に反映する場が議会であり、市民にもっとも身近な

傍聴されるときは、受付簿に氏名などを記入していただけます。

次の定例会は、九月ですが、傍聴されるときも、受付簿に氏名などを記入していただけます。

傍聴にお出かけください。

傍聴席は、一般席40席、車いす席4、記者席8の合計52席となっています。

市議会は、毎年三月、六月、九月、十二月に定例会が開かれ、定例会では、市政全般について

絡したいと思う。

② 今後、小中学校の校舎の耐震改修を中心に行い、その後、他の公共施設の耐震改修を進めないと、財政的には住宅の耐震診断、耐震改修に対する補助事業の創設までに及ばない状況である。

三十人以下学級の実現を採択

六月定例市議会で受理した請願は一件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。



1件

採択したもの

☆意見書提出を求める請願

・三十人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択を求める請願（新潟県教職員組合三南支部執行委員長）

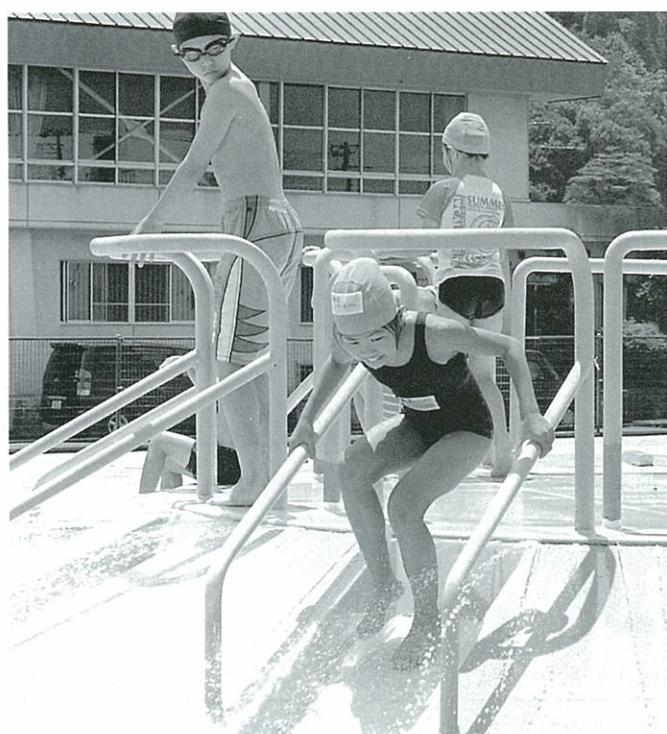
三十人以下学級の実現を求める意見書を提出

◎三十人以下学級実現、義務教育費国庫負担金拡充に係る意見書

子どもたち一人一人が大切にされ、豊かな人間関係の中で教育が行われることは保護者・地域住民・教職員共通の願いです。そのためには教育条件整備の教育予算の確保が不可欠です。

二〇一一年度の政府予算が成り立し、小学校一年生の三十五人以下学級を実現するために必要な標準定数法の改正法も国会において成立しました。標準定数法改正条文の附則には、小学校二年生から中学校三年生までの学級編制標準を順次改定する検討と法制上を含めた措置を講ずること、措置を講ずる際に必要な安定した財源の確保も明記されました。今後、三十五人以下の学級の着実な実行が重要です。

OEC D諸国に比べ、日本は一学級当たりの児童生徒数や教員一人当たりの児童生徒数が多くなっています。一人一人の子どもに丁寧な対応をするためには、ひとクラスの学級規模を引き下げる必要があります。文部科学省が実施した「今後の学級編制及び教職員定数に関する国民からの意見募集」では、約六割が「小中学校の望ましい学級規模」として、二十六人～三十人を挙げています。保護者も三十人以下学級を望んでいること



プールではしゃぐ子供たち（子供プール）

は明らかです。新しい学習指導要領が本格的に始まり、授業時間についてGDPに占める教育費の割合は、O E C D加盟国（二十八か国）の中で日本は最下位となっています。また、三位一体改革によって、義務教育費国庫負担制度の国負担割合は

上の要請です。しかし、教育予算についてGDPに占める教育費の割合は、O E C D加盟国（二十八か国）の中で日本は最下位となっています。また、三位一体改革によって、義務教育費国庫負担制度の国負担割合は

は、全国的な教育水準の確保・教育の機会均等を図るために不可欠です。子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要なことから、「教育は未来への

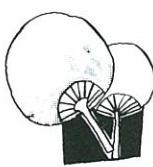
国民の先行投資」であることが多くの共通認識となっています。子どもたちが全國どこに住んでいても教育の機会均等が担保され、教育水準が維持向上されることで、自治体の財政状況に左右されることはなくすべての子どもたちが等しく教育を受けられる

ように次の事項を実現することを強く要望します。

記

一、教員が子どもと向き合う時間の確保及び多様化・複雑化する教育問題へのよりきめ細やかな対応ができるよう教職員定数の計画的な改善を行うこと。具体的学級規模はO E C D諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、三十人以下とすること。

二、教育の機会均等と水準の維持・向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を二分の一に復元すること。



全員協議会

六月二十三日に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案二件について、総括質疑を行いました。

七月二十五日に月例全員協議会を開催し、事務に関する説明書の質疑を行いました。

連合審査会

23日 18日 16日 13日 11日 6日

（5月）

議会日誌

各派交渉会準備会
議会運営委員会に代わる
各派交渉会

14日 1日 21日 15日 14日 1日
（7月） 定例市議会 30日 京
三市議長会（三条）
（三条）
全国議長会定期総会（東京）
議会運営委員会

（6月）
定例市議会
（東京）
（東京）
議会運営委員会

25日 21日 20日 19日

（東京）
臨時市議会
（東京）
議会運営委員会
（東京）
議会だより編集委員会
（東京）

月例全員協議会
医療問題特別委員会
議会だより編集委員会
（東京）

委員会だより編集委員会
改選後
常任委員会から次の者が、議会
だより編集委員に選出されました。
た。

改選後
常任委員会から次の者が、議会
だより編集委員に選出されました。
た。

議会だより編集委員

次の定例会は
● 9月20日（火）から開催の
● 予定です。

5月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
30	専決処分の承認について（新潟県加茂市国民健康保険税条例の一部改正）	承認
31	専決処分の承認について（平成23年度加茂市一般会計補正予算第1号）	"
32	平成23年度加茂市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
33	新潟県加茂市税条例の一部改正について	"

6月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
市長提出議案		
3	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	原案可決
34	専決処分の承認について（平成23年度加茂市国民健康保険特別会計補正予算第1号）	承認
35	専決処分の承認について（平成23年度加茂市一般会計補正予算第3号）	"
36	平成23年度加茂市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
37	平成23年度加茂市一般会計補正予算（第5号）	"
38	市道路線の認定について	"
39	副市長の選任について（吉田淳二氏）	同意
40	監査委員の選任について（森山一理氏）	"
41	平成23年度加茂市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
42	平成23年度加茂市一般会計補正予算（第7号）	"
43	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	"

7月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
44	専決処分の承認について（平成23年度加茂市一般会計補正予算第8号）	承認
45	平成23年度加茂市一般会計補正予算（第9号）	原案可決



笑顔で交流（芝野保育園）